

# 平成23年 名張市消防白書



## 救急・救助

**出場件数が3000件を越える**

平成23年中の救急出場件数は3,140件(前年比+191件)。1日あたり、平均8.6件救急出場したことになります。搬送人員は全体で3,007人(前年比+169人)となりました。

事故種別ごとの救急出場件数は、急病が2,032件と最も多く、次いで一般負傷の409件、交通事故の279件となっています。

一方、平成23年中の救助出動は29件(前年比+2件)で、17人を救助しました。

### 救急出場状況

種別	急病	一般負傷	交通事故	その他	合計
出動件数	2,032件	409件	279件	420件	3,140件
搬送人員	1,890人	397人	324人	396人	3,007人

※その他とは転院搬送、労働災害事故などです。

### 救助出動状況

種別	火災	水難事故	交通事故	その他	合計
出動件数	0件	2件	15件	12件	29件
救助人員	0人	2人	8人	7人	17人

※その他とは機械による事故、自損行為などです。

☎ 名張消防署 ☎ 63-0999

## 火災

### 「こんろ」による火災が5件でトップ



平成23年中の火災件数は32件(前年比+9件)。約11日に1件の割合で火災が発生したことになります。

火災を種別ごとにみると、「建物火災」が14件で最も多く、そのうち6件が住宅火災となっています。

出火原因では、「こんろ」による火災が5件で最も多く、次いで「たき火(焼却行為)」が3件となっています。

火災による死者は3人、負傷者は8人。建物9棟が全焼しました。

### 火災発生状況

建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合計
14件	2件	3件	13件	32件

※その他火災とは、空き地や田畑などで発生した火災です。

☎ 消防本部予防室 ☎ 63-1412

◎「消防白書」は市ホームページにも掲載しています

## 住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅火災から大切な命、財産を守るために住宅用火災警報器を設置しましょう。

設置後は、定期的に清掃や作動確認、電池交換を忘れずに行ってください。電池が切れる時期は製品によってさまざまですが、電池が切れるころになると、音やランプなどで知らせてくれます。

☎ 消防本部予防室 ☎ 63-1412

## 一斉放水「消防出初式」



名張市消防出初式が、1月7日、総合体育館で開催されました。式典では、服装点検や優良団員表彰が行われました。

その後、場所を名張川左岸に移し、一斉放水が行われました。



出動と事務作業が続く

午後4時10分・16分、立て続けに救急出動。16分の出動は、三重大学付属病院への搬送となったため、消防署へと戻ったのが午後7時34分。その間にも2件の救急出動が重なり、市内にある4台(名張消防署2台、桔梗が丘分署1台、つつじが丘



その後も深夜まで続く救急出動

出張所1台)の救急車のうち3台が出動しました。その後も救急出動が重なり、名張消防署の2台の救急車が出動していたため、名張消防署の出動範囲に、桔梗が丘分署から救急車が向かうことがありました。救急救命士は、出動の間を縫って、報告書の整理などの事務処理もこなします。

午前零時から6時までは交代で仮眠をとる時間ですが、その間にも3件の救急出動があるなど勤務中には休まる時間はありません。結局、この日は勤務中に市内で14件の救急出動がありました。「午前8時30分に次の隊との引継ぎ勤務を終えるとうまくはつとしまし」と重森隊員。市民の命を守るため、日々、救急救命士の活動は続きます。

## 命の危機にある「重症者」が利用できるように救急車の適正利用にご協力をお願いします



救急救命士 **重森 伸太**

昨年、名張市消防本部の救急出場件数が初めて3,000件を超えました。救急搬送の増加に伴い、伊賀地域の二次救急実施病院の受け入れにも限界があり、遠方への搬送が増えています。そのため、市にある4台の救急車がすべて出動してしまうこともあります。一方で、救急搬送された人の半数以上が入院の必要のない「軽症者」でした。命の危機にある「重症者」が利用できるように救急車の適正利用をお願いします。

症状が軽く、「交通手段がない」、「どこの病院に行けばよいかわからない」といった場合は、公共交通機関や三重県救急医療情報センターコールセンター(☎64-1199)の活用をお願いします。

急な病気を防ぐことは困難ですが、市民の皆さんには普段から、かかりつけの病院を受診し、体調管理をお願いします。

### 次のような場合には迷わず救急車を呼んでください

- (1) 意識がない(呼びかけ、体に触れても気がつかない)
- (2) 胸や呼吸が苦しい(急な胸の痛み、呼吸困難)
- (3) 頭痛が激しい(経験したことの無い激しい痛み)
- (4) 動き・話しぶりがおかしい(身体の麻痺や言語障害がある)

※その他、ケガによる多量出血、骨折、やけど、普段と様子が違う、体を動かさず救急車以外で搬送できないなどの場合

## 20歳の決意「成人式」

## まちの話題

成人式が、1月8日、総合体育館で開催され、987人の対象者のうち、729人が出席。式典開始前から久しぶりにあった友達と再会を喜んだり、写真を撮ったり楽しんでいました。



成人式の実行委員長の中嶋彰人さん(右写真)は、「社会に貢献できるように、責任と自覚を持って歩いていきたい」と決意を語りました。